

平成17年9月8日

報道資料

ディー・ブレイン証券株式会社

代表取締役社長 出縄良人

未公開企業向け「株式公開診断サービス」を開始

～新興証券市場別の上場可能時期や改善課題を助言～

当社では、株式上場を検討している未公開企業を対象として、株式公開のための改善課題を明確化して上場すべき市場の選択と上場時期を具体的に助言するサービス、「株式公開診断サービス」を商品化し、提供を開始いたしました。

株式公開診断サービスは、企業の財務内容及び経営管理体制等について1日～3日の短期調査を実施し、最短で株式公開可能な証券市場とその時期について提案を行うとともに、必要な改善課題を明確化するレポートを提出します。診断費用は簡易診断が10万円。財務諸表診断や資本政策提案を含む本格的な診断サービスは60万円から。

調査にあたっては、当社公開コンサルティング部のコンサルタントのほか、当社がプロフェッショナル・パートナーとして契約している約50名の公認会計士が専門調査を行います。本格的な診断では調査後1週間～10日ほどでレポートを提出。企業に対して報告会を開催して改善課題と株式公開計画を提案します。

中小企業・ベンチャー企業には、自社の上場に向けての課題について判断がつかないことから、上場準備に踏み出せない会社も多いのが実態です。また、全国6つの証券取引所の新興証券市場についてそれぞれの上場審査基準がまちまちであるとともに、実務的な上場準備作業が異なることから、それぞれの企業のもつ固有の状況によって、どの証券市場にいつ上場できるかについて、判断が困難な場合も多くなっています。また、そのような情報から遠い中小企業では、上場そのものについて自社とは無関係なものと考えている企業経営者も多く、当社では会社の財務内容や経営管理体制を調査に基づいて評価し、新興証券市場の基準に応じた改善課題を明確化して改善策を提案するとともに上場可能な時期に応じた上場計画と資本政策を提示するサービスを商品化いたしました。

現在、上場における時価総額の形式基準が最も低い証券市場は、福岡証券取引所Q-Boardと札幌証券取引所アンビシャスで、時価総額3億円。PER20倍として当期純利益が1千5百万円の利益水準の会社が株式を上場できます。この水準を満たす企業は全国に10万社以上あると考えられ、ディー・ブレイン証券ではこのサービスにより中小企業に株式公開の裾野を拡大したい考えです。

当社は、新日本監査法人で株式公開コンサルティングを行っていた公認会計士の出縄が1997年に設立した株式公開専門証券会社。日本証券業協会の新たな店頭市場として期待されている未上場企業向け証券市場グリーンシートの株式公開では最大手。2001年より新興市場向けの上場引受主幹事業務に進出。特に福岡証券取引所のQ-Boardは現在上場している4銘柄中、3銘柄の上場引受主幹事を務めるなど、小規模企業の引受主幹事に強みを発揮しています。今年は上半期に大阪証券取引所ヘラクレスの上場引受主幹事を含めて3銘柄の主幹事を務めるとともに、引受主幹事業務への参入を表明した松井証券との共同主幹事提携も強化し、上場引受主幹事業務の拡大が本格化しています。

本件に関するお問い合わせ先

ディー・ブレイン証券株式会社

住所：東京都中央区日本橋茅場町1丁目9番2号

電話：03-5645-8808 / FAX：03-5645-8811

担当：経営企画室長 阿部由里